

京浜急行線で行く 『軍港とカレーの街、横須賀』 (汐入駅、横須賀中央駅周辺)

今号は、約150年前のペリー来航の時代から軍港として歴史を刻んできた横須賀を紹介します。軍港の街であり、そして「よこすか海軍カレー」が有名となりすっかりカレーの街としても定着した横須賀。潮風漂う横須賀の街へ出かけてみませんか。

今月は ⇒ NPO法人神奈川県障害者
自立生活支援センター がお伝えします！

通称KILC（キルク）。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング（障害者による相談事業）や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、厚木・平塚2ヶ所を拠点に活動中。
〈連絡先〉〔法人本部〕厚木市愛甲953-2
TEL. 046-247-7503 FAX. 046-247-7508
URL) <http://www.kilc.org> E-mail) info@kilc.org

まずはどぶ板通りを散策

京浜急行線汐入駅を下車、横須賀本町どぶ板通り商店街（通称：どぶ板通り）までは電動車いすでほんの1分程。この商店街は「軍港の街、横須賀」にふさわしく、軍服をはじめとしたミリタリーグッズ（軍隊用品）を扱った店等が軒を並べています。中でも、彩り鮮やかな刺繍が美しく施されたヨコスカジャンパー（スカジャン）が人気で、6,000円くらいで手に入るとのこと。こだわり派は自分でデザインを持ち込んでオーダーすることも可能。シンプルな刺繍であれば、10,000円くらいから作ってもらえるようです。休日には、商店街の中ほどに古着を扱う露天商が店を出し、にぎわいを見せます。中には入口に段差があるために、入ることができないお店がいくつかあり、残念でした。



どぶ板通り。路面は整備されており歩きやすい

街散策でお腹が空いたら、横須賀にすっかり定着した「よこすか海軍カレー」がおすすめ。その始まりは明治時代、日本海軍がイギリス海軍の食事から取り入れたところ、隊員の間で人気のメニューとなり、ここから日本の家庭に広まったと言われています。汐入駅から横須賀中央駅には、この海軍カレーを食べることのできるお店が点在しています。

公園で潮風に吹かれてみる

どぶ板通りから国道16号線、三笠公園通りを抜けると三笠公園に。この公園は東京湾唯一の自然島である、猿島への船が出航する乗り場に隣接しており、また日露戦争で活躍した戦艦「三笠」が復元保存されていることでも有名。艦内には展示室があり、入ることができますが、車いすでは甲板にあがることはできません。園内には音楽噴水池や芝生広場などが整備されており、お弁当を持って景色を見ながら、のんびり過ごすのに最適です。汐入駅より1つ先の横須賀中央駅からであれば、徒歩15分程度でアクセス可能です。

横須賀中央駅から散策する方は、駅から徒歩2分の場所にある「YY（わいわい）ポート横須賀」に立ち寄ってみては。1階には横須賀観光のインフォメーションセンターや、横須賀物産品コーナーがあり、いろいろな情報やパンフレットを入手することができるほか、また横須賀名物や珍しいグッズ等を買うことができます。お土産としても定番のレトルト版海軍カレーは、種類が驚くほど豊富です。

インフォメーション

■横須賀本町どぶ板通り商店街

<http://dobuita-st.com/>

■横須賀市観光協会

<http://www.yokosuka-kanko.com/>

◆ご意見・ご感想は kikaku@knsyk.jp までお寄せください。